



祓へ給へ

清め給へ

神いざなう

神社参拝

ガイドブック

守り給へ

幸へ給へ

吉富町
上毛町
豊前市
築上町



福岡県神社庁築上支部



人生の祭り

神さまと暮らす

祭りは神さまとの
出会いの場

日本人は物事の節目に
神社にお参りしたり
我が家に神さまをお迎えしたりと
神さまとの関係を大切にして
生活を営んできました。

子どもたちの健やかな成長を祈る
初宮詣や七五三詣、結婚式、厄除など
人生の節目におこなう祭りを
『人生儀礼』といいます。
もつとも身近な神さまとの出会いの場
そんな人生の祭り

『人生儀礼』をご紹介します。

初宮詣

赤ちゃんが初めて神社にお参りする
「初宮参り」は、産土神(氏神さま)に
無事に誕生したことを報告しつつ、こ
れからも健やかに成長するようにと、
お祈りするものです。

誕生後、三十日から百日前後にお参
りするのが通例ですが、お子様の体調
を第一に考え、ご都合の良い日にご参
拜ください。

七五三詣

七五三詣とは、十一月十五日前後の
吉数の奇数歳にお子様の成長を祝う
行事です。

三歳は髪置(かみおき)と呼ぶ男女
とものお祝い、五歳は男子の袴着(は
かまぎ)、七歳は女子の帯解(おびと
き)のお祝いとされています。

入学・卒業

小学・中学・高校・大学の受験など神々
のご加護で実力を十分発揮できますよ
うにと願う気持ちを神様にお伝えしま
す。入学や卒業の際にも、願いごとをし
た神社にお礼のお参りをしましょう。

厄除

人生は山あり、谷あり。古くから人々
は、とくに気をつけなければならぬ
年回りを「厄年」と呼んできました。

男性は数え二十五歳、四十二歳、六十
一歳。女性は数え十九歳、三十三歳、三
十七歳が厄年にあたります。特に男性
の四十二歳、女性の三十三歳は厄年の
中でも重い大厄と言われています。

この年齢は現代でも人生の大きな転
機を迎える年回り。神社でお祓いを受
け、神々のご加護で無事にすごせるよ
う祈りましょう。

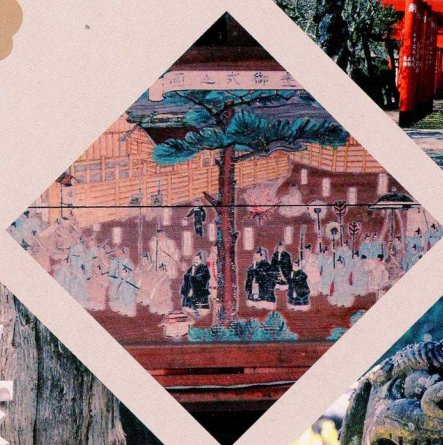
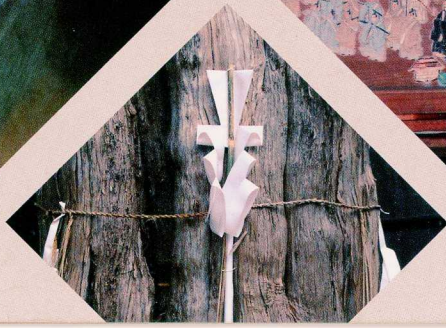
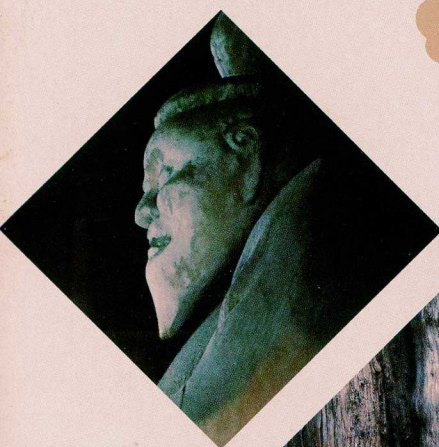
結婚式

伊邪那岐命(イザナギノミコト)と伊
邪那美命(イザナミノミコト)は、神代
の昔「天の御柱」を周り結婚し、国生み
を成し遂げ、多くの神々を生み出しま
した。

神さまのはからいによって、ひとつ
の縁が結ばれたことに感謝するととも
に、お互いに尊敬しあいながら長い人
生と家庭の建設を神前に誓います。

その他

地鎮祭、上棟祭、竣工祭、社運隆昌、交
通安全祈願祭(車祓)、家内安全祈願祭、
病氣平癒などを祈ります。



神社 鎮座地

鈴を鳴らし、お参りください

社頭に設けられた鈴は、その清々しい音色で参拝者を敬虔な気持ちにするとともに参拝者を祓い清め、神霊の発動を願うものと考えられています。

吉富町

① 八幡古表神社

上毛町

② 六社神社

③ 貴船神社

④ 八社神社

豊前市

⑤ 足切神社

⑥ 嘯吹八幡神社

⑦ 大富神社

⑧ 国玉神社

築上町

⑨ 綱敷天満宮

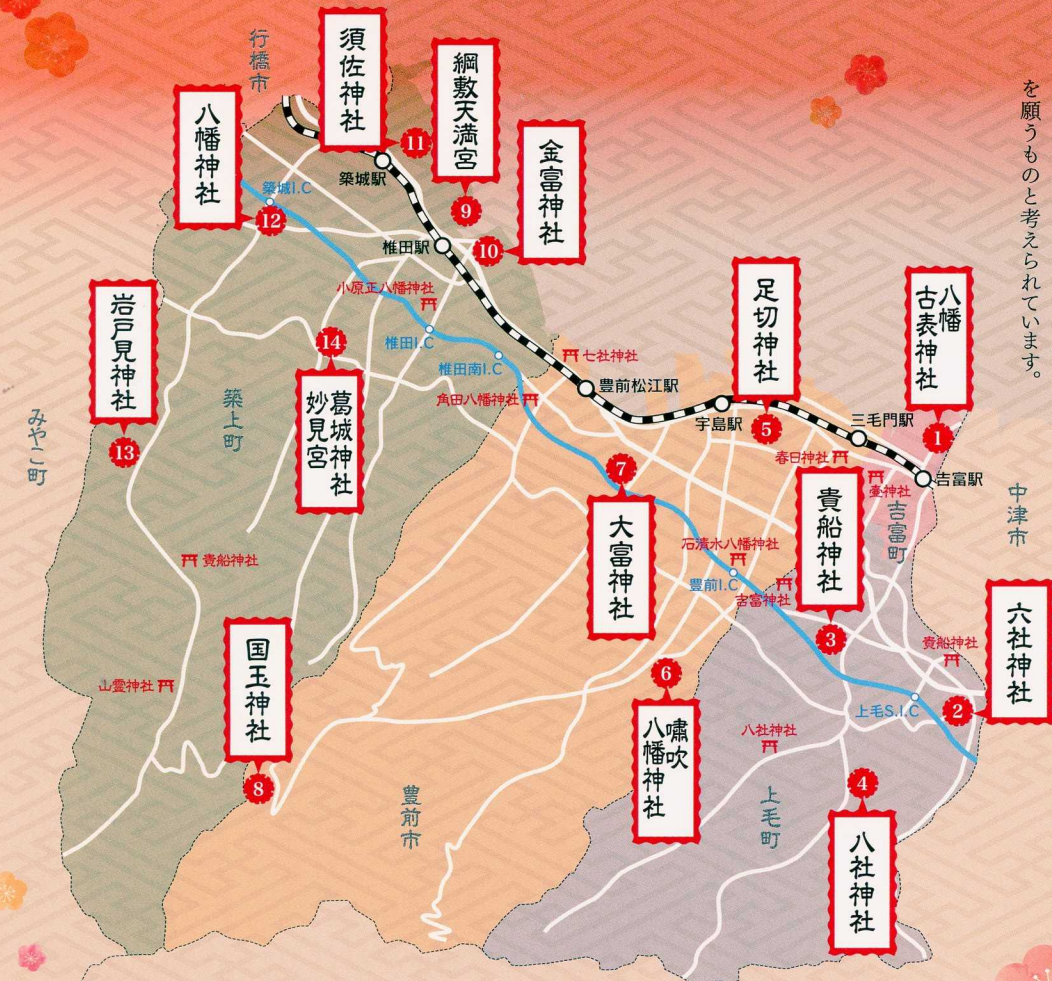
⑩ 金富神社

⑪ 須佐神社

⑫ 八幡神社

⑬ 岩戸見神社

⑭ 葛城神社妙見宮



六社神社



2

鎮座地 福岡県築上郡上毛町上唐原2050

御祭神 高麗神・閻魔神・水波能売神・表筒之男命・中筒之男命・底筒之男命

宝亀元年(770)夏、大干ばつがあり、多布原の志摩兵衛允義尋が住民の苦しみを見かね六ヶ所にお堂を建立し、住民と雨乞い祈願をした結果、21日目に大雨となり五穀は枯死をまぬがれました。その秋、6名が発起人となり六ヶ所の神を集めて六社神社を建立。その後延喜元年(901)と享保14年(1729)再建されました。拝殿の天井には絵画が描かれ覆屋が付けられた本殿は一間社流造の柿葺で極彩色の装飾が施されています。境内には菅原道真公との遺徳を偲んで建立された多布原天満宮があります。



八幡古表神社



1

鎮座地 福岡県築上郡吉富町小犬丸353-1 ☎0979-22-3237

御祭神 息長帯姫尊・虚空津比売命・四十柱大神(古表大明神)住吉大神

縁起は欽明天皇の御宇6年(545)に遡り、神功皇后様の託宣により息長大神宮と称して、まずはじめに八幡宮が鎮座し、脇殿には住吉宮が祀られました。細男舞・神相撲(木彫りの御神像が舞い、相撲を取る当社の伝統行事)の神々を祭る古表大明神の起源は、少し時代が下ってからで、天平16年(744)のことです。神功皇后様が黒牛にまたがった姿の御神像、細男舞・神相撲四十七体の御神像、細男舞・神相撲の行事と三つの国指定重要文化財を有しています。



足切神社



5

【鎮座地】 福岡県豊前市大字赤熊556 ☎0979-83-4685

【御祭神】 級長津彦神・級長津比売神・罔象女神

当社祭神の級長津二柱(風の神・水の神)を祀る神社は極めて少なく、風の力で諸々の禍事を吹き払い、水の力ですべてを祓い清める御神徳の高い神々です。特殊祭事は干ばつ時に奏する公富楽(雨乞いの楽)が行われていましたが現在は中断しています。本殿は拝殿の基礎より約二尺高い檀を設け、さらに四尺の石垣の上に唐獅子、竜手挟みや瀟洒な彫刻で飾られた総櫓の流造りです。

*祈年祭/2月25日 *例祭/4月第3土曜日(神幸祭)

*新嘗祭/10月20日



貴船神社



3

【鎮座地】 福岡県築上郡大字宇野663-1 ☎090-8404-8864

【御祭神】 高麗神・閻魔神・素戔鳴尊

元禄12年(1699)に記録された「中津城下寺社改帳」によると、貴船大明神、伊勢宮、小市郎社、山王権現の四社が祀られていたことがわかります。当時は中津藩領で社人(神職)も山国川対岸に位置する中津市高瀬の人でした。明治40年(1907)、恵比寿神社、小市郎社、猿田彦社、海神社、山王神社、稲荷神社、大年神社が合祀されています。また明治10年(1877)には皇大神社(三重県伊勢市所在)遙拝所が建設されています。



嘯吹八幡神社



6

【鎮座地】 福岡県豊前市大字山内143 ☎0979-88-2142

【御祭神】 応神天皇・神功皇后・仲哀天皇・天児屋根命・武内宿禰

文徳天皇の御代仁寿2年(852)創建。社名である「嘯吹」とは風招であり、口をすぼめて息吹・口笛をする事により罪・けがれを祓い、心身を清浄に保つという意味です。境内に残る三蓋菱の燈籠は、小倉藩主小笠原氏の正室が病氣平癒祈願の成就を感謝し、寄進されたものです。また永禄5年(1562)大友宗麟の軍勢が来功した折り、社蔵の「火吹面」を境内の神木へかけた処、大火災を吹き出し、たちまち軍勢を追い返し、除災招福の靈験ありと伝えられています。これらの由来をもって厄除・病氣平癒・身体健康の社としても知られています。正月や恒例祭には神楽や獅子舞が奉納されています。

*歳旦祭/1月1日 *清原神事/4月第2土・日曜

*八朔祭・風鎮祭/9月1日

*秋季大祭/10月13日 *山人走り/11月27日 *除夜祭/12月31日



八社神社

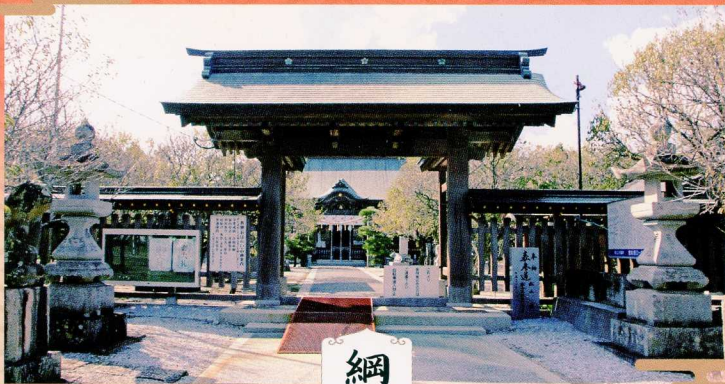


4

【鎮座地】 福岡県築上郡大字東上3327-1

【御祭神】 天照大神・天児屋根命・応神天皇・素戔鳴尊・倉稻魂神・表筒神・健南方神・別雷神・崇徳天皇・豊日別神・大山祇神・高麗神・閻魔神・大物主命・倉福德神

古くは明神宮という名称で天照大神のみを祀っていましたが、明治4年(1871)に現在の社号に改められました。鳥居をくぐり39段の石段をかけ上ると、目の前に注連縄をめぐらせた巨石があります。御宝石(御供石)と呼ばれ、古来より神霊の宿るものとして崇拝せられて来ました。横に廻って巨石に触れると靈氣が入り、身体の悪い所、穢れが除かれるといわれています。



綱敷天満宮



9

鎮座地 福岡県築上郡築上町高塚794-2 ☎0930-56-0238

御祭神 菅原道真公(学問、至誠、厄除けの神)

昌泰4年(901)、菅公左遷の命により海路太宰府に赴かれる途中、強い季節風に流され、この浜に御座船を寄せられた。村人たちは船のとも綱を円座に敷いて迎えたという故事により、天暦9年(955)、国府の命によって社殿が造営され綱敷天満宮といわれるようになりました。境内の約千本の紅梅、白梅が咲き始める2月上旬より大勢の観梅客で賑わいます。

*初天神祭/1月25日 *梅祭大祭/2月25日 *神幸祭/5月4日～5日
*夏祭/7月25日 *例大祭/9月25日 *新穀感謝祭/11月25日



大富神社



7

鎮座地 福岡県豊前市大字四郎丸256 ☎0979-83-3450

御祭神 宗像大神・八幡大神・住吉大神

天皇の使者である勅使が宇佐神宮へ赴いた際に、水を汲んで献上したという井戸「勅使井」が境内に残り、現在でも水が献上され続けています。天平12年(740)の藤原広嗣の乱の平定をきっかけに始まった神幸祭は豊前市最大級の規模を誇るお祭りで、2年に1度「感応楽」が奉納されます。感応楽は腰蓑や赭熊を身に着けた人々が、お囃子に合わせて太鼓を叩いたり、約1.5mもある大きなうちわを激しく振りながら舞うもので、県の無形民俗文化財に指定されています。

*歳旦祭/1月1日 *節分厄除祭/2月3日
*神幸祭・感応楽(隔年)/4月30日～5月1日 *夏越祭/7月31日
*御供揃祭・岩戸神楽・流鏝馬(隔年)/10月19日



金富神社

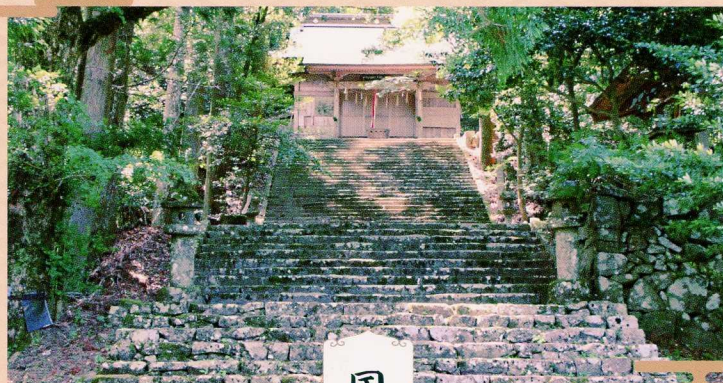


10

鎮座地 福岡県築上郡築上町大字湊423-2 ☎0930-56-0509

御祭神 応神天皇・仲哀天皇・神功皇后・木花開耶姫命

三世紀の頃、京都郡の豪族辛島族は、今日の上毛、下毛郡地方の豪族山国族を融合し、共同の祭神として「ヤハタノカミ」を創祀し、山豊国の国魂として綾幡郷(旧椎田町)の中央に矢旗八幡として斎き祀りました。その古代の宮跡がここ金富神社です(第一次原始八幡神)。その事があり、神亀元年(724)宇佐の大神首人がこの地に社殿を建立し、八幡神を勧請し奉りました(日本勧請之最初也)。このような事から当金富神社は宇佐八幡宮の元宮で、原始八幡神顕現の霊地といわれ、今でも八幡神発現の日として初卯の日に原始八幡神祭礼の原始形態をとどめる「榊山神事」が伝承されています。



国玉神社



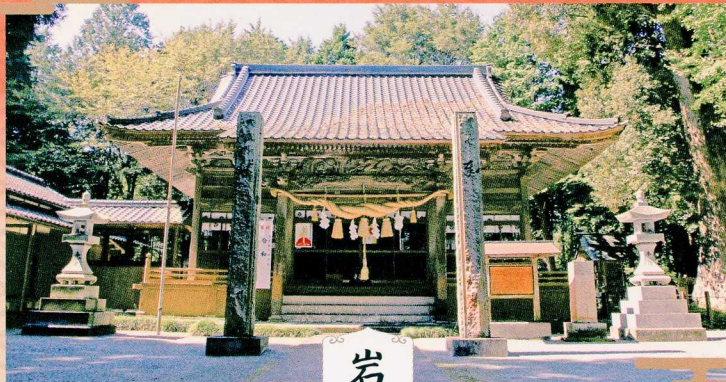
8

鎮座地 福岡県豊前市大字求菩提202

御祭神 額国霊神・伊弉諾命・伊弉冉命

当社は英彦山六峰のひとつである元求菩提山護国寺です。明治元年の神仏判然令により国玉神社として新たに発足しました。毎年3月末に行われる「お田植祭」は修験文化の名残りが色濃く残る松会の田行事です。かつて「一山五百坊」と形容された山は豊前修験道のメッカとして大きな役割を果たしました。山内には修験の場や山伏たちが生活をした坊跡、堂宇、墓など当時を偲ぶことができる多くの遺構が遺されています。平成13年(2001)には国の史跡に指定され、わが国を代表する修験の山として評価されました。

*お田植祭/毎年3月の最後の日曜日



岩戸見神社



13

鎮座地 福岡県築上郡築上町伝法寺1339 ☎0930-54-0450

御祭神 天照皇大神・天兒屋根命・大己貴命

岩戸見神社は宇都宮信房が下野国の一宮の二荒山神社を勧進したもので、文治元年(1185)に創建されたといわれています。神社には元和5年(1619)作の県内最古の神馬図の絵馬や、幹周り4.8mもあるイチイガシの巨樹があり、その歴史の古さを物語っています。宇都宮家は弓の名家でしたが、黒田官兵衛・長政によって滅ぼされたことを秀吉が朝鮮出兵の折、悔やんだとされます。2年に1度、流鏑馬祭りを開催しています。

*元旦祭/1月1日 *祈年祭/3月28日 *例祭/4月29日

*神幸祭/5月4日・5日 *夏祭/8月初旬 *新嘗祭/11月28日

*午祭/12月初めの午の日



須佐神社



11

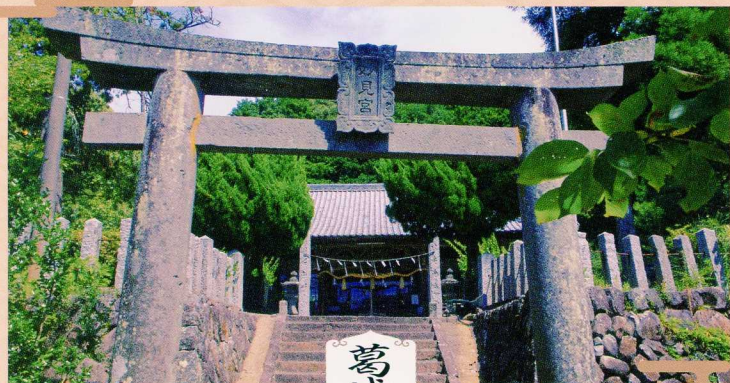
鎮座地 福岡県築上郡築上町宇留津1400-1 ☎0930-56-3479

御祭神 須佐之男命

宇留津のほぼ中心地に位置し、この郷の歴史を見守り続け、今なお産土の神として鎮座します須佐神社は、その御由緒書によりますと天曆2年(948)2月14日、疫病災害から人々を守る神として鎮座したとあり、須佐之男命を中心とする祭神は広く人々から国家安寧・疫病消除の神として尊崇されています。

*歳旦祭/1月1日 *祈年祭/3月2日 *神幸祭/5月5日 *例祭/5月16日

*新嘗祭/12月9日



葛城神社 妙見宮



14

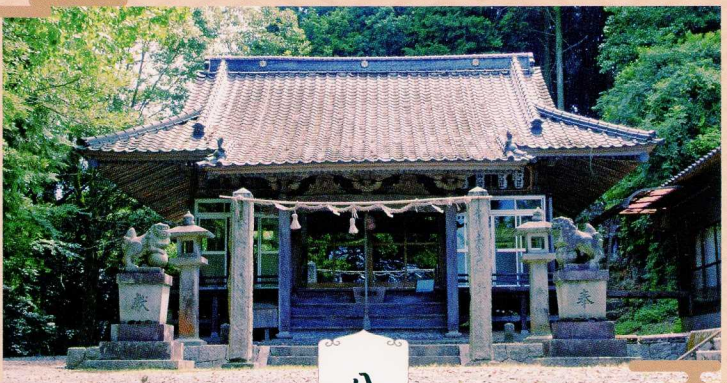
鎮座地 福岡県築上郡築上町大字奈古111 ☎0930-56-2915

御祭神 天之御中主神・高御産霊神・神皇産霊神の三神(別天津神)

神代の息吹そのままに、御鎮座から900余年緑の中に静かに佇んで人々の深い崇敬と心の拠り処として今日に至っています。皆様も詣りになれますと何かを感じにされるのではと思います。天之御中主神は宇宙根源の神として崇められ、宇宙の中心の神で全ての神々の中心となっています。それゆえに北極星を妙見尊星として称えられています。高御産霊神、神皇産霊神は、この世のすべてのものごとを産み成し願いごとの成就に係わり御利益をもたらす神様と崇められています。

*歳旦祭/1月1日 *祈年祭/3月15日 *神幸祭/5月5日

*例大祭/9月30日 *新嘗祭/11月30日 *除夜祭/12月31日



八幡神社



12

鎮座地 福岡県築上郡築上町赤幡321-3

御祭神 仲哀天皇・神功皇后・応神天皇・猿田彦命・天御中主命

非常に歴史の古い神社です。推古天皇18年(610)、赤幡の神が降臨したので赤幡大明神を奉斎、このことは宇佐大鏡にも記載あり、という記述が「豊前國誌」や宇佐大鏡にも言及されています。毎年1月1日、5月3日、10月8日には赤幡神楽が奉納されます。

*元旦祭/1月1日 *祈年祭/3月23日 *神幸祭/5月3日

*例大祭/9月29日 *新嘗祭/11月23日